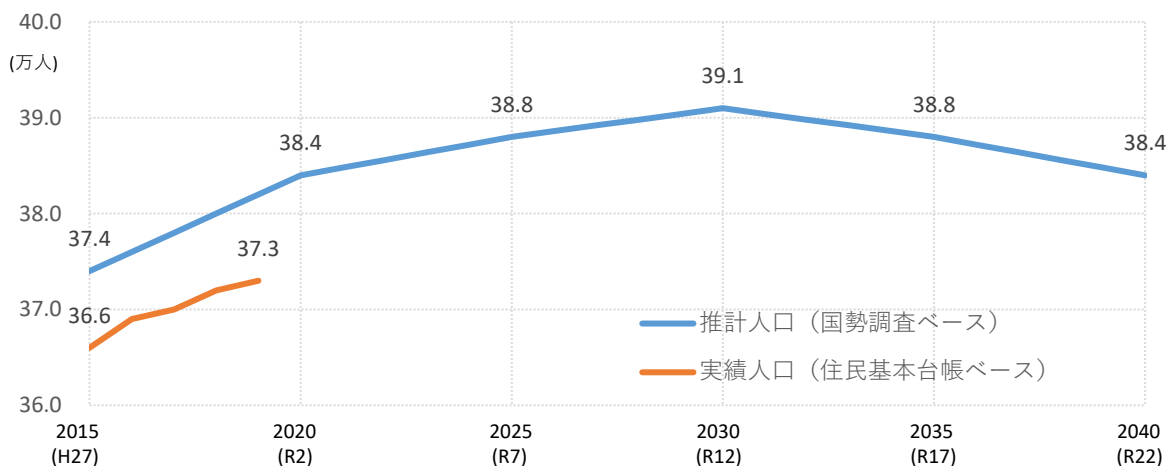


吹田市第4次総合計画 令和元年度の進捗状況（令和2年8月現在）

本市のめざすべき将来像を見通し、本市のまちづくりを推進するための今後10年間の指針とした、第4次総合計画（計画期間：令和元年度(2019年度)～令和10年度(2028年度)）の令和元年度の進捗状況等を取りまとめました。

■ 人口の推移

推計人口は国勢調査ベース、実績人口は住民基本台帳ベースのため、差異はあるものの、推計と同じ傾向で推移しています。



年	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
人口	36.6	36.9	37.0	37.2	37.3

■ 財政運営の基本方針

持続可能な財政運営に向け、以下の3点を財政運営の目標としています。目標の達成状況を分析するための目安として設定している指標の実績は以下のとおりです。

①市民ニーズに柔軟に対応できる財政構造を維持します。

指標	策定時	実績(R1)	目標
経常収支比率	95.6%	96.7%	95%以下

②継続して安定的な財政運営を行うための備えを確保します。

指標	策定時	実績(R1)	目標
財政調整基金の残高	106.3億円	133.8億円	100億円を確保

③将来世代への過度な財政負担を抑制しながら、本市の魅力の維持・向上を図るための必要な投資を行います。

指標	策定時	実績(R1)	目標
公債費比率	7.5%	7.6%	10%以下
市債残高の標準財政規模に対する割合	66.2%	72.1%	100%以下
赤字地方債の発行	発行なし	発行なし	極力抑制

経常収支比率については、社会保障関係経費や施設の管理運営経費の増大などにより目標未達成となりましたが、その他の項目については、不測の事態への備えを確保しつつ、適正な市債管理に努めたことにより、目標を達成することができました。

■ 施策指標の進捗

各施策の取組の目標や方向性を共有するとともに、実施した取組の成果や進捗状況を客観的に評価するため、「施策指標」を設定しています。令和元年度の実績及び進捗度(S、A、B、C)は以下のとおりです。

- S：目標を大きく達成している、又は目標の達成に向けて計画以上に進んでいる。
 A：目標を達成している、又は目標の達成に向けて計画どおり進んでいる。
 B：目標を達成していない、又は目標の達成に向けた進捗が少し遅れているが、計画最終年度には目標を達成する見込みである。
 C：目標を大きく下回っている、又は目標の達成に向けた進捗が遅れており、取組の強化が必要である。
 ー：令和元年度には調査、把握されていないもの。前年度以前に調査、把握等がされている場合は()で記載。

各政策に関連する主なSDGsのゴールをアイコンで表示しています。

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された国際目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標です。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むべき課題であること、また、自治体を含めた様々なステークホルダー(市民、企業、団体、NPOなどの関係者)が取り組むべき目標とされています。



▶▶▶大綱1【人権・市民自治】

平和の尊さを重んじ、性別などにかかわらず市民一人ひとりがお互いの個性や価値観の違いを認め合う豊かな人権感覚を育み、だれもが対等な社会の構成員として暮らせるまちづくりを進めます。また、市民と行政との協働による取組を進めるとともに、地域における多様なコミュニティ活動の支援に努めるなど、市民自治の確立に向けて取り組みます。

政策1 平和と人権を尊重するまちづくり



目標：市民一人ひとりの人権が尊重され、だれもが対等な社会の構成員として平和に安心して暮らせるまち

1-1-1 非核平和への貢献	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
平和祈念資料館の年間利用者数	5.0万人	4.2万人	6.0万人	B
1-1-2 人権の保障	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
人権に関する啓発活動や講演会などへの年間参加者数	6.1万人	5.8万人	6.5万人	B
人権をテーマにした標語やポスターなどの作品を市の事業へ応募した小・中学校の数	36校	38校	54校	B
1-1-3 男女共同参画の推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
市職員の管理職(課長代理級以上)における女性の割合	25.1%	25.0%	30%	B
交際相手からの暴力(デートDV)に関する中学生を対象とした啓発講座の実施校数	3校	9校	18校	A



政策2 市民自治によるまちづくり

目標：市民自治の確立に向けて、市民と行政とがそれぞれの役割を担うとともに、市民自らが地域課題の解決に向けて行動するまち

1-2-1 情報共有の推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
市のホームページの閲覧者数(月平均)	14.5万人	23.5万人	20.0万人	A
1-2-2 市民参画・協働の推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
市民委員の公募を行っている審議会などの割合(公募できないものを除く)	80.4%	100.0%	100%	A
市民公益活動センター(ラコルタ)の年間利用者数	6.4万人	5.9万人	7.0万人	B
1-2-3 コミュニティ活動への支援	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
自治会加入率	51.0%	48.6%	60%	C
コミュニティセンターや市民センターなどコミュニティ施設の年間利用件数	4.5万件	4.1万件	4.8万件	B

▶▶▶大綱2【防災・防犯】

さまざまな災害に対応するため防災・減災対策や消防体制を充実させるとともに、市民が犯罪やトラブルに巻き込まれることを未然に防ぐための取組を進めます。また、地域での助け合いや市民の意識向上を支援するとともに、市民、企業、関係機関との連携のもと、だれもが安心して安全に暮らせるまちをめざします。

政策1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

目標：市民一人ひとりの防災意識と地域防災力・減災力が高まり、災害に強いまち

2-1-1 危機管理体制の充実	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
各種団体との防災協定締結数	64件	80件	100件	A
2-1-2 防災力・減災力の向上	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
連合自治会単位での自主防災組織の結成率	70.5%	73.5%	100%	B
2-1-3 消防・救急救命体制の充実	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
消防団員数	179人	177人	250人	B
普通救命講習などの年間受講者数	1.0万人	1.0万人	1.0万人	A


政策2 犯罪を許さないまちづくり




目標：市民一人ひとりの防犯意識や犯罪を許さないという気運が高まり、だれもが安心安全に暮らせるまち






2-2-1 防犯力の向上	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
防犯に関する講座の年間受講者数	710人	683人	1,500人	B
2-2-2 消費者意識の向上	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
消費者向けの講座の年間受講者数	594人	588人	700人	B




▶▶▶大綱3【福祉・健康】

高齢者や障がい者をはじめ、だれもが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられるまちづくりに取り組みます。また、健康寿命の延伸をめざし、すこやかで心豊かに暮らせる健康・医療のまちづくりに取り組みます。

政策1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり 				
目標：高齢者が住み慣れた地域ですこやかに、安心して暮らし続けられるまち				
3-1-1 生きがいづくりと社会参加の促進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
高齢者生きがい活動センターの年間利用者数	5.1万人	4.6万人	6.0万人	B
3-1-2 暮らしを支える支援体制の充実	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
後期高齢者のうち、要支援・要介護の認定を受けている人の割合	33.5%	31.9%	32%	A
認知症サポーターの養成数(累計)	2.2万人	2.6万人	5.6万人	A
3-1-3 介護保険制度の安定的運営	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
受けている介護サービスに満足している利用者の割合	67.7%	79.3%	70%	A


政策2 障がい者の暮らしを支えるまちづくり   				
目標：障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で安心して育ち、学び、働き、暮らし続けられるまち				
3-2-1 生活支援など暮らしの基盤づくり	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
ホームヘルプなど訪問系サービスの利用者数(月平均)	1,274人	1,330人	1,860人	B
グループホームの利用者数(月平均)	337人	395人	700人	B
3-2-2 社会参加の促進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
移動支援事業の利用者数(月平均)	1,059人	1,072人	1,230人	B
「就労継続支援(非雇用型)事業所」における工賃の平均月額	12,517円	(13,113円) (H30)	18,000円	- (B)


政策3 地域での暮らしを支えるまちづくり     				
目標：地域福祉活動と総合的な生活保障により、だれもが地域で互いに支え合いながら、安心して暮らせるまち				
3-3-1 地域福祉の推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
小地域ネットワーク活動の延べ参加者数(地区福祉委員含む)	8.3万人	7.8万人	8.8万人	B
福祉避難所の支援を行うボランティアの人数	0人	22人	130人	B
3-3-2 生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
生活困窮者に対する就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数	87人	72人	90人	A


政策4 健康・医療のまちづくり   				
目標：市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、生活の質を高めながら健康寿命を伸ばし、すこやかで安心して暮らせるまち				
3-4-1 健康づくりの推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
特定健康診査(吹田市国保健康診査)の受診率	46.0%	42.2%	60%	B
生活習慣改善に取り組む市民の割合	(男性)	53.4%	60.5%	A
	(女性)	59.1%	62.9%	
3-4-2 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
健康増進広場など健都の施設を活用した運動プログラムや健康イベントなどの年間実施件数	0件	39件	180件	A
3-4-3 地域医療体制の充実	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
地域医療推進に関する講演会などの参加者数(累計)	210人	317人	1,600人	B

▶▶▶大綱4【子育て・学び】

安心して子供を産み育てることができ、すべての子供の育ちが尊重されるとともに、豊かに学ぶことができるよう、家庭、地域、学校などの連携・協働のもと、子育て・教育環境の充実をめざします。また、すべての市民が生涯にわたって学べる環境を整えるとともに、学びの活動を通じて人と人、人と地域がつながるまちづくりに取り組みます。

政策1 子育てしやすいまちづくり 				
目標：安心して子供を産み育てられ、すべての子供がすこやかに育つことができるまち				
4-1-1 就学前の教育・保育の充実	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
保育所などの待機児童数	55人	16人	0人	B
4-1-2 地域の子育て支援の充実	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
「子育て支援コンシェルジュ」の年間利用者数	3,510人	4,125人	5,000人	B
4-1-3 配慮が必要な子供・家庭への支援	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
生後4か月までの乳児がいる家庭に対し保健師、民生委員・児童委員などが訪問し面談を行った割合	72.2%	70.0%	80%	B
「ひとり親家庭相談」における就業相談の利用により就業につながったひとり親の人数	20人	28人	50人	B


政策2 学校教育の充実したまちづくり 				
目標：子供たちが新しい時代を生き抜くために必要となる学力、人間性、体力を育むことができるまち				
4-2-1 学校教育の充実	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
授業で学習したことが将来社会に出た時に役に立つと思う 小・中学生の割合 (小)	87.1%	90.3%	95%	A
小・中学生の割合 (中)	78.4%	81.8%	86%	
学校へ行くのが楽しいと感じる小・中学生の割合 (小)	86.6%	86.2%	92%	B
小・中学生の割合 (中)	80.6%	82.2%	86%	
4-2-2 学校教育環境の整備	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
小・中学校の校舎及び体育館の大規模改修の実施率	18.2%	44.3%	100%	A
小・中学校のトイレ改修の実施率	41.5%	81.1%	100%	A

政策3 青少年がすこやかに育つまちづくり 				
目標：家庭、地域、学校の連携・協働のもと、青少年のすこやかな成長を支えるまち				
4-3-1 青少年の健全育成	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
青少年指導者講習会の年間受講者数	268人	206人	350人	B
青少年施設主催イベント・講座などの年間参加者数	13.6万人	15.9万人	14.0万人	A
4-3-2 放課後の居場所の充実	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
留守家庭児童育成室の受入児童数	3,236人	3,523人	4,600人	A
太陽の広場などの年間参加者数	20.7万人	18.7万人	22.7万人	B

政策4 生涯にわたり学べるまちづくり 				
目標：いつでも、どこでも、だれでも、さまざまな生涯学習活動に取り組むことができるまち				
4-4-1 生涯学習活動の支援	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
市民大学講座の年間受講者数	2,538人	1,405人	3,000人	B
4-4-2 生涯学習環境の整備	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
地区公民館の年間利用者数	43.4万人	39.7万人	46.6万人	B
図書館の年間入館者数	195.8万人	159.9万人	222.0万人	B


▶▶▶大綱 5 【環境】


持続可能な社会の実現をめざし、市民が親しみをもてるような貴重な自然を守り育てるとともに、安全で健康かつ快適な生活を営むことができる良好な環境を確保し、低炭素、資源循環、自然共生を基調としたまちづくりを進めます。

政策 1 環境先進都市のまちづくり 				
目標：持続可能な社会の実現に向けた先進的な取組が進められ、良好な生活環境が整ったまち				
5-1-1 低炭素社会への転換の推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
市域の年間エネルギー消費量	18.9PJ	19.3PJ	13.1PJ	A
市域の太陽光発電システム設備容量(累計)	1.5万kW	2.0万kW	3.5万kW	B
5-1-2 資源を大切に作る社会システムの形成	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
「マイバッグ」の持参率	44.1%	79.6%	80%	A
市民1人当たりの1日のごみ排出量	843g	850g	760g	B
5-1-3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
公害に関する苦情を解決した割合	68.1%	56.2%	80%	B
「環境美化推進団体」の団体数	24団体	25団体	40団体	A

▶▶▶大綱 6 【都市形成】


安心で快適に暮らせる魅力ある都市空間を形成するため、さまざまな都市機能の充実を図ります。また、市民の暮らしを支える道路などの都市施設について、災害に対する備えや環境負荷の軽減などに配慮しながら、計画的な整備や維持管理・更新を行います。


政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 				
目標：地域の特性を生かしたまちづくりが進められ、みどり豊かで安全・快適に暮らせるまち				
6-1-1 土地利用誘導と良好な景観形成	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
まちづくりのルール(地区整備計画)の策定地区数[面積]	52地区 [160.9ha]	66地区 [261.0ha]	75地区 [230.0ha]	S
景観に関するルール(景観重点地区)の指定地区数[面積]	20地区 [88.7ha]	23地区 [98.8ha]	40地区 [150.0ha]	A
6-1-2 良好な住環境の形成	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
住宅の耐震化率	81.4%	-	95%	-
空き家のうち腐朽・破損のあるものの割合	28.7%	(20.2%) (H30)	10%	(B)
6-1-3 みどりの保全と創出	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
公園などの面積	358.8ha	359.85ha	361.6ha	A
「みどりの協定」に基づく取組などを行う団体数	28団体	28団体	60団体	B


政策 2 安全・快適な都市を支える基盤づくり 				
目標：道路、水道、下水道などの適切な維持や、公共交通の利便性の向上により、だれもが安全・快適に暮らせるまち				
6-2-1 道路などの整備	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連経路などの整備延長	8.3km	9.9km	17km	A
都市計画道路の整備率	91.0%	92.0%	96%	A
6-2-2 水道の整備	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
水道管路の更新延長	7.2km	22km	93km	A
水道基幹管路の耐震化率	41.9%	43.9%	58%	B
6-2-3 下水道の整備	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
下水道管路の更新及び長寿命化延長	23.9km	31.4km	65km	A
雨水排水施設の整備率(1時間に約50mmの降雨に対応)	54.0%	54.0%	55%	A
6-2-4 交通環境の整備	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
自転車通行空間の整備延長	0.9km	2.6km	40km	C

▶▶▶大綱 7 【都市魅力】

大学のあるまちといった強みや、文化・スポーツなどの活動を通じて育まれた市民のつながりなどを地域資源として活用しながら、これまで受け継がれてきた魅力を発信するなど、市民のまちに対する愛着を深め、一層の魅力向上をめざします。また地元企業の事業活動や創業を支援することにより、雇用の創出や地域経済の活性化をめざします。


政策1 地域経済の活性化を図るまちづくり 				
目標：地域経済の活性化が図られ、だれもが働きやすい環境が整ったまち				
7-1-1 産業振興と創業支援	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
開業率と廃業率の差	△2.4ポイント	-	3.0ポイント	-
商店街及び小売市場における空き店舗率	9.3%	10.1%	7%	B
7-1-2 就労と働きやすい環境づくりへの支援	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
JOBナビすいたを活用した年間就職者数	612人	611人	630人	A
「障がい者就職応援フェア」への参加者数	52人	71人	85人	A

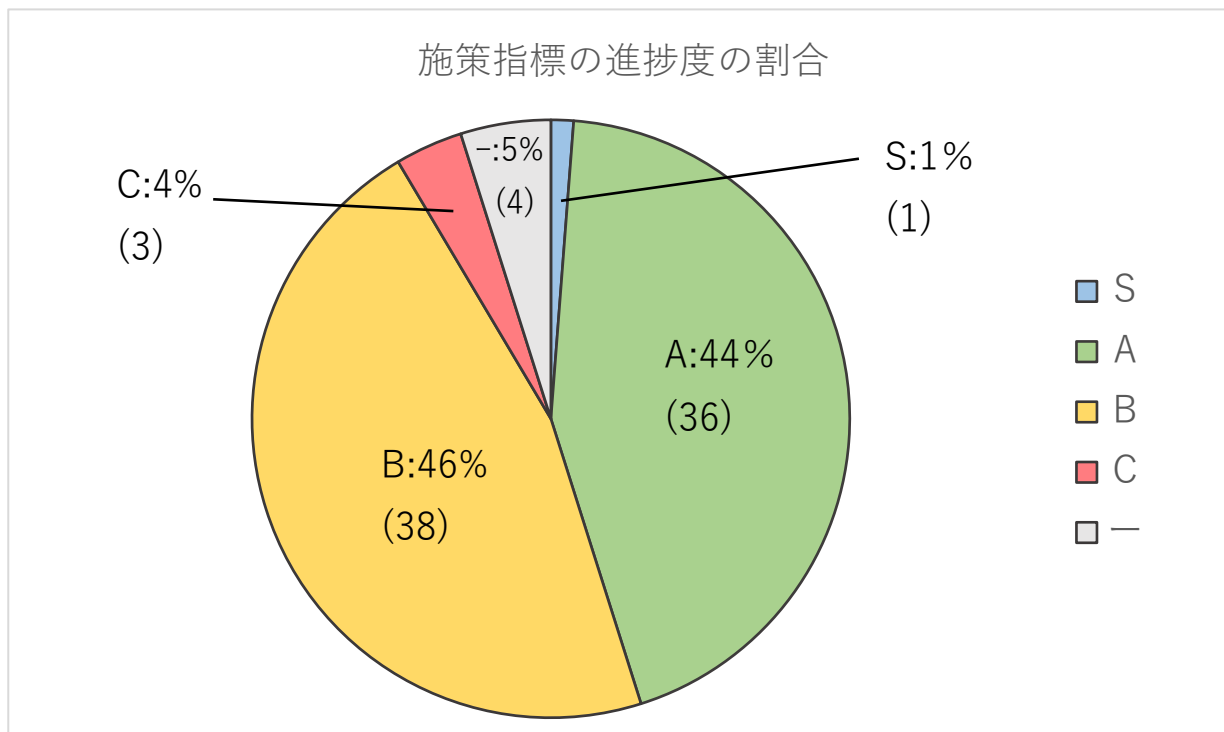
政策2 文化・スポーツに親しめるまちづくり 				
目標：文化やスポーツを通じて、より豊かな市民生活を営める魅力あるまち				
7-2-1 文化の振興	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
文化会館(メイシアター)の年間入館者数	48.6万人	6.3万人	50.0万人	C
7-2-2 文化財の保存と活用	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
吹田市立博物館の年間入館者数	3.4万人	2.8万人	3.5万人	B
7-2-3 地域におけるスポーツの振興	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
スポーツイベントやスポーツに関する講座などへの年間参加者数	7.5万人	7.1万人	9.5万人	A
「社会体育リーダー」など地域におけるスポーツ指導者の延べ認定者数(累計)	4,099人	4,206人	5,000人	A

政策3 市民が愛着をもてるまちづくり 				
目標：まちのさまざまな魅力の向上により、市民が愛着や誇りを持ち、住み続けたいと思えるまち				
7-3-1 魅力の向上と発信	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
吹田まつりへの協賛・協力団体数	536団体	560団体	600団体	A
「情報発信プラザ(Inforestすいた)」への年間入場者数	39.5万人	27.0万人	45.0万人	B
7-3-2 本市独自の強みを生かしたまちづくり	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度
大学との連携による事業やイベントなどの年間実施回数	96回	134回	120回	A
ガンバ大阪と小学生のふれあいイベントなど応援イベントへの年間参加者数	2,032人	4,640人	5,000人	B

▶▶▶大綱 8 【行政経営】

持続可能なまちづくりを実現するため、PDCAサイクルによる進行管理のもと施策を推進するとともに、公共施設などの資源を長期的に有効活用できるよう公共施設の最適化に取り組むなど、効果的かつ効率的な行政運営を行います。また、市民にとって身近な基礎自治体として、地方分権の進展に伴う権限移譲に対応するなど自主・自立のまちづくりに努めます。

政策 1 行政資源の効果的活用					
目標：限られた財源や人材などの行政資源が有効活用され、新たな行政課題に柔軟に対応しながら、持続可能な行政運営が行われているまち					
8-1-1 効果的・効率的な行財政運営の推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度	
財政調整基金残高	106億円	134億円	100億円	A	
公債費比率	7.5%	7.6%	10%以下	A	
8-1-2 公共施設の最適化	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度	
一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合	0.0%	0.0%	100%	A	
8-1-3 人材育成の推進	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度	
職員1人当たりの年間研修受講回数	5.9回	3.6回	7.0回	B	
8-1-4 ICTの利活用	策定時	実績(R1)	目標(R10)	進捗度	
ICTを活用した行政サービスの稼働休止時間	144分	0分	0分	A	



施策指標の評価の割合はS、Aを合わせて45%と半数近くが目標を達成することができました。Bを含めると91%が計画最終年度には目標を達成する見込みです。

市民意識指標

市民意識指標は、市民の意識や行動、満足度などを指標として設定しています。4年に1回を基本とする市民意識調査により調査を行います。

平成26年度と比べて、割合が低下している指標があるものの、ほとんどの指標が向上しています。

No.	指標名	H26年度	H30年度	目標
市全体の取組の向上を示す指標				
1	今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている市民の割合	57.8%	59.8%	70%
2	市の窓口サービスに満足している市民の割合	16.3%	18.7%	50%
【大綱1】人権・市民自治				
3	人権意識が向上していると思う市民の割合	21.7%	30.0%	30%
4	男女がともに個性や能力を発揮できている社会になってきていると思う市民の割合	30.8%	34.2%	50%
5	市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなど、市が発信する情報に満足している市民の割合	25.9%	29.4%	41%
6	何らかの機会を通じて市政に参画したことがある市民の割合	4.0%	2.9%	8%
【大綱2】防災・防犯				
7	地震や風水害などへの対策に満足している市民の割合	19.0%	22.2%	70%
8	災害に備えている市民の割合	27.7%	34.8%	75%
9	治安が良いと感じる市民の割合	42.8%	48.5%	70%
【大綱3】福祉・健康				
10	何らかの社会参加をしている高齢者の割合	59.5%	65.5%	70%
11	障がい者を支える福祉・保健・医療サービスに満足している市民の割合	13.7%	16.8%	18%
12	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉に満足している市民の割合	12.7%	16.4%	24%
13	保健事業や健康づくりに満足している市民の割合	14.8%	21.5%	18%
【大綱4】子育て・学び				
14	安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	63.0%	75%
15	学校教育に満足している市民の割合	20.9%	23.9%	50%
16	一年間で何らかの学習活動を行った市民の割合	-	35.2%	50%
【大綱5】環境				
17	快適な生活環境の確保に満足している市民の割合	26.6%	31.7%	40%
18	ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組に満足している市民の割合	25.1%	29.9%	40%
【大綱6】都市形成				
19	まちなみが美しいと感じる市民の割合	58.6%	60.7%	70%
20	みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合	61.4%	62.1%	67%
21	鉄道・バスなど公共交通網の便利さに満足している市民の割合	54.5%	58.5%	60%
【大綱7】都市魅力				
22	商工業の振興に満足している市民の割合	10.8%	16.5%	15%
23	芸術文化を親しめる環境として満足している市民の割合	15.0%	17.0%	20%
24	成人の週1回以上のスポーツ実施率	36.7%	35.7%	50%
25	市の魅力を伝える取組に満足している市民の割合	7.5%	10.2%	15%